

進路決定期の心構え

＝ 生徒の心構え ＝

(1) 自分の進路・自分の生き方について真剣に考えよう

目先の進路先ばかりにとらわれるのではなく、これからの長い人生の中で自分はどのような道を、どのように歩んでいきたいのかよく考えましょう。そして、その途中経過としての中学校卒業後の進路を明確にしていきましょう。

(2) 自分の進路先を選択・決定していく過程の中で「自立心」を養おう

進路の学習、経験の上での成功とは、「第1希望を達成した」とか、「〇〇高校に合格した」ということではないのです。自分の進路先を選択・決定していく過程（家族との話し合い、面談など）の中で大人への人格形成「自立心」を養うことができたかどうかが問題です。

(3) 目標を実現するために「頑張る力」「努力する態度」を身につけよう

自立心を養い、進路先の学校や就職先を決定できたら、これほどうれしいことはありません。しかし、もっと大切なことは、そのために「頑張る」「努力する」ことなのです。そして、この力が将来の君たちに直接、役立つパワーとなるのです。合格は後からついてくる結果なのです。

今、みんなが頑張ることは次のようなことです。

- ◎ 節度ある生活リズムを確立し、健康管理に努める。
- ◎ 1時間1時間の授業を大切にする。
- ◎ 全体のことを考え、誰とでも仲良くし、協力する。
- ◎ 良識ある態度、言葉遣い、身だしなみをきちんとする。
- あいさつをしっかりとし、時間を守る。
- きまりを守る。
- 清掃や係活動など自分の責任をしっかりと果たす。
- 学校行事に積極的に取り組む。

(4) 勉強とはどのようなものか、なぜするのかを考え、将来につながる学力をつけよう

勉強は高校入試、就職試験などのためだけのものではありません。今の世の中の豊かさや便利さは、人の知力で生み出されたものです。勉強を人生の長い道のりの中で考え、目的意識がもてるようになれば、頑張れるはずですよ。

(5) 自分の決めたことを実現する強い意志をもち、最後まであきらめずに頑張ろう

やる気になって頑張ろうとすればするほど、いらだちを感じ、やるべきことが手につかなくなることもあるでしょう。しかし投げ出しはいけません。焦ってもいけません。つらいのは自分だけではありません。最後まであきらめずに頑張きましょう。

(6) 同じ立場の友達と共に向上しよう

みんなの周りには、たとえ進路希望先が違っても「進路」という同じ課題、悩みをもった仲間がたくさんいます。共通の問題で苦労し、一緒に乗り越えていこうと頑張った時お互いを認めることができ、友情を深めることができるのです。「クラスの団結・協力」も「希望進路の達成」に必要な力です。

(7) 自分の進路は自分で決断し、自分自身で責任をもとう

今、みんなは一度しかない大切な人生の、ひとつの分岐点に立っています。家族や先生と相談することは大切ですが、人任せにははいけません。何よりも重要なことは、自分から進んで調べ、考え、決断し、その決断に最後まで自分で責任をもっていくことです。

お知らせ

調査書の形式が今年度から変更になります。総合的な学習の記録、3年次の行動の記録、出欠の記録、総合所見の記載がなくなります。裏面のようなものになります。詳しくは、10月7日（火）の第2回進路説明会の資料にも掲載します。その調査書の内容の確認をしていただくための、第1回調査書記載事項確認書の配付を10月3日（金）に予定していましたが、様式の変更があるため、10月20日（月）に変更させていただきます。1、2年、3学年前期までの学習の記録、特別活動の記録、部活動の記録、私立高校のための出欠席の記録などの確認を各ご家庭でしていただきます。少し先のことですが、ご理解、ご協力をお願いいたします。